



花巻市 東和総合支所

施工地／岩手県花巻市東和町
土沢8区60番地
竣工年月日／平成20年3月21日
敷地面積／4,453.08㎡
構造／1階 RC造
2・3階 木造
延床面積／2,390.64㎡

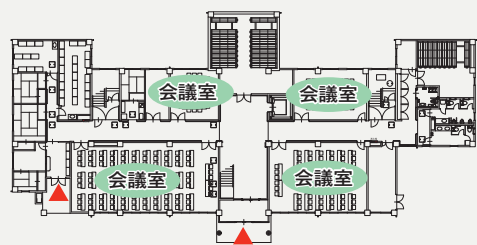
新しい町の活性化を目指して

旧東和町役場庁舎は築後50年が経過しており、老朽化に伴う耐震性の問題などを抱え早期の建替えが必要と考えられておりました。

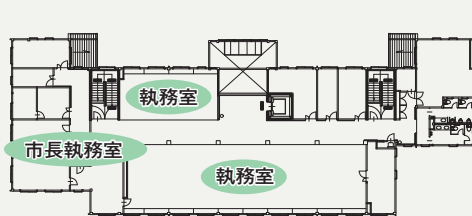
そのなか平成18年に花巻市・東和町・大迫町・石鳥谷町が合併し旧東和町役場庁舎は新市の総合支所として位置づけられることになり、平成20年に「東和地域の顔となる施設」「地域住民と行政の協働を具現化する施設」「事務効率が確保され、防災及び災害発生時のセンター機能を有する施設」をコンセプトに新たな街並みを生み出し、中心市街地の活力の向上を図る、地域に開かれた利用しやすい庁舎として整備されました。

平面図 a plan

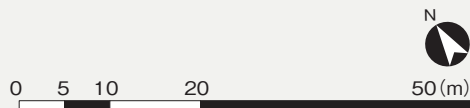
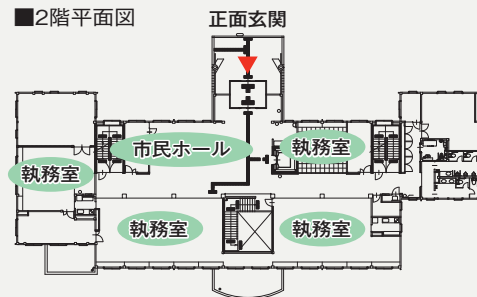
■1階平面図



■3階平面図



■2階平面図



市民の為の新しい環境づくり

新しい庁舎は地区中心部の活力維持を鑑み移転計画とはせず、既存敷地内での建替え計画とし敷地南側への配置としました。敷地北側には広く駐車場を設け、イベント時の広場的な利用が可能な地域コミュニティの場として活用できます。また隣接する街道沿いの商店街と一体となる多目的な利用により一層の地域の賑わいを創出する計画としました。

外観は地域との調和を考慮して切妻屋根とし2階、3階部分には温かみをかもしだす木目調、1階部分には安定感のある石調のサイディングを用い落ち着いた色彩計画としました。

庁舎へのアプローチは東西南北の多方面からとし、敷地の高低差を利用して車輛が進入する南側の1階と北側の2階部分に玄関出入口を設け、お年寄りから子どもまで全ての利用者の利便性の向上に配慮した施設となっております。

機能性を重視した空間

内部は自由なレイアウトを可能とする間仕切りのない連続した執務空間とし、利用者が一望でき左右対称で単純な分かり易い平面計画といたしました。

1階には地域協議会の活動拠点としての会議室を設け、時間外の利用を考慮してセキュリティに配慮し、住民と行政の協働を目指す場を計画しました。

2階には玄関出入口正面に多様な住民活動をサポートする市民ホールを配置しました。市民ホールは1階玄関出入口の吹抜けと連続する一体的な空間となり1階、2階玄関の連続性を演出する開放的なスペースとなっております。執務室は2階から3階にかけて配置し特に住民の利用頻度の高い諸室は2階に集中させて来庁者に使いやすい施設となるよう考慮いたしました。

地域の安全性への配慮

2階、3階部分は県産材を使用した大断面集成材による木造構造となっております。災害時のセンター機能を求められる施設として地震に強い(十分な耐震性)、火災に強い(準耐火構造)という大断面集成材を使用する木造建築物の利点を生かした建物となっております。



1階エントランスホール



2階エントランスホール



2階市民ホール



3階執務室



2階客溜まり



1階会議室